

平成16年(行ウ)第68号 公金支出差止等請求事件

原告 村越啓雄 外50名

被告 千葉県知事 外2名

証拠説明書(甲号証)

2008(平成20)年8月26日

千葉地方裁判所民事第3部合議4係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 菅野 泰

同 廣瀬 理夫

同 中丸 素明

同 植竹 和弘

同 拝師 徳彦

同 及川 智志

同 島田 亮

同 山口 仁

同 近藤 裕香

甲号証	標目	作成者	原・写の別	立証趣旨
24	意見書の訂正	嶋津暉之	写し	甲23号証・意見書の訂正内容
25	証言のスライド	嶋津暉之	写し	将来の水需要が減少傾向にあること、千葉県が将来の水需要をまかなうに十分な保有水源を有していること
26	「地下水採取に関し、千葉県環境保全条例の見直しを求める意見書」	佐倉市議会	写し	佐倉市議会において、地下水採取に関し、千葉県環境保全条例の見直しを求める堂本千葉県知事宛の意見書を採択した事実
27	「八ッ場ダム事業の見直しを求める意見書」	同上	〃	佐倉市議会において、八ッ場ダム事業の見直しを求める堂本千葉県知事宛の意見書を採択した事実
28	2004年度決算委員会会議録	千葉県議会事務局	〃	平成16年12月の厚生労働省の通知による水道水源開発施設等整備事業に係る再評価が、千葉県においては全くなおざりにしか行われなかったこと
29	第10回千葉県水道局事業懇談会議事録	千葉県	〃	同上
30	千葉県議会予算委員会会議録(平成20年2月定例会)	千葉県議会事務局	〃	千葉県においては、八ッ場ダムによる治水の効果について、算出すらされていない事実など
31	河川事業の予算の推移	嶋津暉之	〃	河川事業の予算が全体として大きく削減されているばかりか、ダム建設事業のために河川改修費がいつそう大幅に削減されていること
32	新聞記事	朝日新聞(平20.6.11付)	〃	国がカスリーン台風と同じ降水パターンの場合、八ッ場ダムによる治水効果がないことを認める答弁をした事実
33	「重要水防箇所って何？」などと題するインターネット記事	利根川上流河川事務所	〃	毎年重要水防箇所を定め、関係者(都道府県等)で、その年の重要水防箇所を確認する合同巡視も行われていること

甲号証	標目	作成者	原・写の別	立証趣旨
34	千葉県の重要水防箇所	同上	〃	千葉県内においては河川改修の遅れから、水防上最も重要度が高い「重要度A」が何箇所も存在すること
35	「平成20年6月定例県議会(本会議)における大野博美の質問と答弁」と題する書面	原告ら	〃	平成20年6月定例県議会(本会議)における大野博美県議の質問とそれに対する県当局者の答弁の録音テープを反訳したもの。同県議が八ッ場ダムの利水・治水上の問題点について追及している事実とそれに対する答弁の状況
36	新聞記事	朝日新聞(平20.3.27)	〃	千葉県が大多喜ダム中止の方針を固めた事実など
37	新聞記事	千葉日報(平20.3.28)	〃	同上
38	八ッ場ダム建設事業及び関連業の負担額の試算(基本計画変更前)	嶋津暉之	〃	基本計画の変更によって、八ッ場ダム建設事業及び関連事業の負担額が大幅に増大している事実並びにその内訳
39	同(基本計画変更後)	同上	〃	
40	「平成20年度当初予算編成段階における財政見直し」	千葉県総務部財政課	〃	平成20年度当初予算においては企業庁からの借入れなどをしてもなお145億円の財源不足が生じていること。平成21年以降も同様の傾向が続き、平成24年までの4年間で少なくとも約630億円に達するとされていること
41	「県財政を取り巻く状況について」	千葉県総務部財政課	〃	千葉県の財政が、あらゆる観点からみても極めて危機的状況にあること
42	新聞記事	朝日新聞(平20.2.13)	〃	3年連続財源不足などと報じているもの。その主たる原因についても言及している
43	新聞記事	千葉日報(平20.8.1)	〃	経常収支比率が100%を突破したこと
44	佐倉市議会会議録	佐倉市議会事務局	〃	八ッ場ダム完成後給水されることによって、佐倉市においては、水道料金が50%から60%も引き上げなければ収支のバランスがとれない結果となる事実